



2025 年 12 月 24 日

各 位

会 社 名 日 本 エ コ シ ス テ ム 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 松 島 穰  
(コード番号：9249 東証スタンダード市場・名証メイン市場)  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 担 当 稲 生 篤 彦  
電 話 番 号 0 5 8 6 - 6 4 - 9 2 4 9

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ（アップデート）

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状分析

##### (1) 資本収益性

2025 年 9 月期の ROE は 5.5% であり、2024 年 9 月期の ROE 12.6% から 7.1 ポイント減となっており、9% と想定している当社の株主資本コスト（※1）を下回る結果であります。

この要因は、2025 年 9 月期の利益減少にあり、主に新たなグループ会社の決算期変更による業績変動、M&A 仲介費用増加、ファシリティ事業の期ずれ等による減少、成長投資である人材採用の費用増加といった一過性の事象による影響を受けたものであります。よって、来期予想の当期利益水準から判断して、資本収益性については問題ないものと判断しております。

##### (2) 市場評価

当社が 2021 年 10 月に株式公開して以来、2022 年 9 月期～2025 年 9 月期の 4 年間における PBR は、1.0 倍から 2.4 倍の間で推移しており、PER も 5.5 倍から 44.6 倍の間を推移しております。

直近事業年度において、平均株価、PER、PBR は上昇しております。その主たる要因は、2024 年 1 月に株主優待制度の導入を発表して以降、株式市場から一定の評価を継続して得られている点が挙げられます。加えて、2025 年 4 月に株式分割（3 分割）を行い、目的である投資単位当たりの金額引き下げによる投資しやすい環境の整備、および投資家層の拡大が図られている点にあると分析しております。

##### (3) 財務状況

2025 年 9 月期の WACC は 4% 程度と算出しております。過去 3 年間ににおける D/E レシオは 0.3 倍から 1.0 倍の間で推移し、当社グループの財務安定性は確保されていると考えております。

|                | 2023 年 9 月期 | 2024 年 9 月期 | 2025 年 9 月期 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|
| 売上高（百万円）       | 7,577       | 9,301       | 11,261      |
| 経常利益（百万円）      | 685         | 806         | 468         |
| 当期純利益（※2）（百万円） | 874         | 622         | 301         |
| ROE（%）         | 21.3        | 12.6        | 5.5         |
| D/E レシオ（※3）（倍） | 0.46        | 0.35        | 1.02        |
| 平均株価（※4）（円）    | 1,773.17    | 4,344.78    | 1,572.90    |
| PER（倍）         | 5.5         | 19.0        | 44.6        |
| 1 株当たり純資産（円）   | 1,652.17    | 1,864.04    | 640.33      |
| PBR（倍）         | 1.0         | 2.2         | 2.4         |

※1 当社は、株主資本コストを推計する手法として、CAPMを使用しております。

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

※3 D/Eレシオ：有利子負債／自己資本

※4 平均株価は、事業年度末日等以前3か月間の日々の最終価格の平均値（小数点第三位以下、省略）を採用しております。

## 2. 方針・目標

当社グループは、前述した現状分析を踏まえた上で、資本コストや株価を意識した経営を今まで以上に実践してまいります。そのためには、M&Aや人材の採用、育成等、積極的な成長投資を行うことが重要であり、それと並行して安定的な株主還元を行うことが必要だと考えに変更はございません。

## 3. 具体的な取り組み

### （1）成長投資の拡大

#### ① 技術力を支える人的資本投資

グループ一括採用の実施、資格取得支援、JESアカデミーによる教育体制、新たな研修体系の導入、資格手当・福利厚生の拡充

#### ② 既存事業の深化、新事業創出に向けた事業開発の推進

#### ③ 事業領域・エリア拡大や新規事業への進出を促進するM&A投資

### （2）IR活動の強化

#### ① 個人投資家向けIRの強化

#### ② 投資家との建設的対話の強化

#### ③ ESG、サステナビリティ関連の積極的な開示

### （3）株主還元の推進

#### ① 配当性向25%の配当実施

#### ② 株主優待の継続実施

以 上